B5FH-B136-01-00㋐

安全上のご注意

警告表示の見かた

下の表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様自身や他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

⚠ **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、危害や損害の内容がどのような種類のものかを区別するために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

記号の例とその意味

	△で示した記号は、警告・注意を促す事項があることを告げるものです。 記号の中には、具体的な警告内容（左の例の場合は感電注意）が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。 記号の中には、具体的な禁止内容（左の例の場合は分解禁止）が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。 記号の中には、具体的な指示内容（左の例の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください）が示されています。

警告表示について

※ 電源ケーブル・電源プラグの取り扱いに関する警告表示は、AC アダプタ使用時の注意も含みます。

電源・電圧・接続について

⚠ **警告**

- アース接続が必要な装置は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
  アースを接続しないと、感電のおそれがあります。

- アース線はガス管には絶対に接続しないでください。
  火災の原因となります。

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
  また、タコ足配線をしないでください。
  感電・火災の原因となります。

- 添付の電源ケーブル以外は使用しないでください。
  感電・火災の原因となります。

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
  感電の原因となります。

- 電源ケーブルやコネクタの金属部分に手を触れないでください。また、電源プラグを抜いた直後は、プラグに触らないでください。
  感電の原因となります。

- 電源ケーブルや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
  そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2000-2003

警告表示について

※ 電源ケーブル・電源プラグの取り扱いに関する警告表示は、AC アダプタ使用時の注意も含みます。

電源・電圧・接続について

⚠ 警告

● 電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。
重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、感電・火災の原因となります。
修理は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

● 電源プラグの金属部分、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。
そのまま使用すると、火災の原因となります。

● カバーを外した状態で電源プラグをコンセントに差し込んだり、電源を入れたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

● 周辺機器の取り付けや取り外しを行う場合は、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。
感電・火災または故障の原因となります。

● 近くで落雷のおそれがある場合は、パソコン本体の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントから抜き、モジュラーケーブルをコネクタから抜いてください。
そのまま使用すると、雷によっては機器を破壊し、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

● 電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

● 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
火災・故障の原因となることがあります。

● 電源ケーブルは壁のコンセントに直接接続してください。
延長ケーブルなどを使用すると、火災の原因となることがあります。

● ディスプレイ以外の機器（指定外の機器）を、パソコン本体に接続して電源を取らないでください。
火災・故障の原因となることがあります。

● 電源ケーブルを束ねて使用しないでください。
発熱して、火災の原因となることがあります。

● 指定外の AC アダプタは使用しないでください。
火災・けがの原因となることがあります。

● ケーブルは正しく接続してください。
誤った接続状態で使用すると、機器本体および周辺機器が故障する原因となることがあります。

本体・周辺機器の取り扱いについて

⚠ 警告

● 万一、機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに機器本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、異常な現象がなくなるのを確認して、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

● 異物（水・金属片・液体など）が機器の内部に入ったときは、ただちに機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● 機器を落としたり、カバーなどを破損したときは、機器本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
その後、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

本体・周辺機器の取り扱いについて

⚠ 警告

● 機器をお客様ご自身で改造しないでください。また、マニュアル等で指示がある場合を除いて分解しないでください。
感電・火災の原因となります。

● 開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
感電・火災の原因となります。

● 取り外したカバー、キャップ、ネジなどの小さな部品は、小さなお子様が誤って飲み込むと窒息の原因となります。保護者の方は、小さなお子様の手の届かない所に置くように注意してください。
万一、飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。

● 機器本体や AC アダプタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
感電・火災の原因となります。

● 機器の上または近くに花びん・植木鉢・コップなどの水が入った容器や、クリップ・ピンなどの金属物を置かないでください。感電・火災の原因となります。

● 台所など、湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。
感電・火災の原因となります。

● 風呂場、シャワー室など、水のかかる場所で使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

● 乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

● 乾電池を入れる場合、＋（プラス）と－（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 指定以外の乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 乾電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

⚠ 注意

● 機器の上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。
バランスが崩れて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

● 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。
倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

● 機器の開口部（通風孔など）をふさがないように、機器と壁の間に 10cm 以上のすき間をあけてください。
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● 直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。
高熱によってカバーなどが加熱・変形・溶解する原因となったり、機器内部が高温になり、火災の原因となることがあります。

● 使用中の機器およびＡＣアダプタは布などでおおったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● CD-ROM ドライブなどのレーザ光の光源部を直接見ないでください。
目を傷める原因となることがあります。

● 液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着したときは、流水で 15 分以上洗浄してください。
また、目に入ったときは、流水で 15 分以上洗浄したあと、医師に相談してください。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

● 周辺機器を接続する場合には、弊社純正品をご使用ください。
弊社純正品以外の機器を使用すると、故障の原因となることがあります。

● フロッピーディスクをセットするとき、および取り出すときには、フロッピーディスクドライブの差し込み口に指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

● CD または DVD などをセットするとき、および取り出すときには、CD-ROM ドライブなどのトレーやスロットに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

● PC カードをセットするとき、および取り出すときには、PC カードスロットに指などを入れないでください。
けがの原因となることがあります。

本体・周辺機器の取り扱いについて

⚠ 注意

● PC カードの使用終了直後は、PC カードが高温になっていることがあります。PC カードを取り出すときは、使用後しばらく待ってから取り出してください。
火傷の原因となることがあります。

● 周辺機器類、マザーボードなどの取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。指定された場所以外のネジを外すと、けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

● パソコン本体内部の突起物、および指定されたスイッチ以外には、手を触れないでください。けがをするおそれがあります。また、故障の原因となることがあります。

ワイヤレスLAN機能内蔵パソコンの取り扱いについて

⚠ 警告

● 病院内や医用電気機器のある場所ではワイヤレス LAN 機能を OFF にしてください。特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。ワイヤレス LAN 機能からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。

● 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離してください。電波によりペースメーカーの作動に影響を及ぼすことがあります。

● 自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くでは使用しないでください。ワイヤレス LAN 機能からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。

その他

⚠ 警告

● 梱包に使用しているポリ袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。
窒息の原因となります。

● ディスプレイに何も表示できないなどの故障状態で本パソコンを使用しないでください。故障の修理は「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

⚠ 注意

● 本パソコンを無理な姿勢で長時間使い続けると、腰痛や腱鞘炎の原因となる場合があります。以下に示すような正しい姿勢で使用し、1 時間に 10 分間以上の休憩をとってください。
・いすに深く腰かけ、背筋を伸ばす。
・いすの高さを、足の裏全体がつく高さに調節する。
・ひじは 90 度以上に伸ばして操作する。

● ディスプレイを長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」等、目の傷害の原因となることがあります。1 時間に10 分間以上の休憩をとってください。また、なるべく画面を下向きに見る位置にする、意識的にまばたきをする、場合によっては目薬をさすなどしてください。

● ディスプレイなどの重量のある装置を動かすときは、必ず 2 人以上で行ってください。
けがの原因となることがあります。

● 機器を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。
電源ケーブルが傷つき、感電・火災の原因となったり、機器が落下したり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

● 長期間機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災の原因となることがあります。

● ヘッドホンなどをお使いになるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間お使いになると、聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

● ヘッドホンなどをしたままパソコン本体の電源を入れたり切ったりしないでください。
刺激音により聴力に悪い影響を与える原因となることがあります。

● 本装置は連続動作（24時間動作）を目的に設計されておりません。ご使用にならないときは電源を切ってください。
火災の原因となることがあります。

● モジュラージャックに指などを入れないでください。
感電の原因となることがあります。

● 機器の廃棄時には、他のゴミと一緒に捨てないでください。
本装置はリチウム電池を使用しており、火中に投じると破裂の恐れがあります。